

令和2年度 南丹市まちづくり活動交付金（市民団体向け） 交付決定事業一覧



No.	事業名 (団体名)	事業内容	事業費	交付 決定額	年 数
1	こどもの居場所づくり (特定非営利活動法人そのべる)	家庭や学校以外で子どもが安心して過ごせる場所をつくり、そこで子どもと地域ボランティアの交流を行うことで、子どもたちの育ちに伴走する。	287,000	200,000	1
2	「ふるさと殿田 地域の自信と防災意識を育む」 プロジェクト (殿田の歴史を考える会)	殿田の歴史を知る人・伝える人が減少していることから、地域への関心を高めるため、殿田の歴史をまとめた冊子作りや講演会、史跡の整備を行う。	271,000	200,000	1
3	「南丹・瓢箪・無病丹」で 南丹市を活性化する。 (南丹・瓢箪・愛丹会)	高齢者が活躍できる場所と地域のブランド品をつくるため、高齢者や子どもを対象とした瓢箪の栽培・加工の講習会や完成品の展示会を行う。	280,000	169,200	1
4	季節限定型交流コンテンツ開発事業 (洞区)	人口減少・高齢化により地域の活力が失われていることを受け、地域外在住者に呼びかけを行い、ホタル散策道の整備と鑑賞会を実施する。	279,000	200,000	1
5	地域資源の整備及び これらを活用した集落活性化事業 (今宮区)	移住者や観光客を呼び込むため、今宮城に関する講演会の開催とササユリ苑をグレードアップさせた「山野草・樹木園」の整備・現地案内を行う。	320,600	200,000	1
6	胡麻まちづくり元気活動 (東胡麻文化振興会)	地域住民の体力向上を目指すサイクリングツアーや、歴史と文化に触れるきっかけづくりのハイキングなど、地域課題を解決する取組を複数実施する。	267,000	200,000	1
7	埴生のシンボル復活プロジェクト事業 (埴生のシンボル復活プロジェクト)	埴生城址へ至る登山道を整備し見学ツアーを開催することで、誰もが気軽に登れる山にするとともに、埴生の文化的価値を住民に再認識してもらう。	280,142	200,000	1
8	休耕田に桑木を植え、高齢者が培った 知識と技術を活かして元気作りを行う事業 (特定非営利活動法人 京都桑田村)	休耕田の活用と高齢者の生きがいづくりを目的に、地域の保育園や民間企業と共同での植樹や、桑葉の活用会議を実施する。	272,000	200,000	1
9	市民の学びと交流によるまちづくり (八木町市民フォーラムの会)	人口減少やまちのにぎわいが衰退している状況を受け、市民自らがまちの良さを再確認できるよう、まちめぐりガイドブックの作成や見学ツアーを行う。	220,000	150,000	1
10	しょうがプロジェクト南丹 (しょうがプロジェクト南丹)	地元産しょうが栽培の普及と加工品の特産化に向けて、地域イベントへの参加・出店などの広報活動や加工品の試作に取り組む。	340,000	200,000	1
11	美山町鶴ヶ岡でブランド米を作るプロジェクト (おいしいコメづくり研究会)	米づくりを核に農地を守り地域を活性化するきっかけづくりのために、専門家の指導を受けながら特別栽培米をつくる。また、食味調査や試食会も行う。	309,400	200,000	1
12	中川英明イラストの世界展 (八木町観光協会)	地元の歴史遺産をキーワードに地域の輪を生みそれをまちづくりに繋げるため、八木町歴史紹介漫画本の制作者である中川英明氏のイラスト展を開催する。	279,850	193,000	1
13	山から人の流れを生み出すプロジェクト (洞志会)	地域の活性化、農村・都市交流、観光客の誘致を進めるため、観光財産である滝周辺遊歩道と洞峠古道の整備・ツアーを行う。	503,800	200,000	1
14	南丹の農産物加工に挑戦したい人応援 プロジェクト (南丹農産加工クラブ)	農家の後継者が不足していることから、地域農業・経済を活性化させるため、参加者が将来的に飲食店などを独立開業できるよう支援する。	310,000	200,000	1
15	南丹市の歴史を次世代に伝える プロジェクト (南丹市歴史探勝会)	若い世代が郷土の歴史や文化に愛着と誇りを持ち、自らのアイデンティティを養うことを目的に、南丹市を動画でPRする。	194,190	142,863	1